

国際関係の 第4期科学技術基本計画の進め方について

Bureau of Science, Technology and Innovation Policy, Cabinet Office

第3期科学技術基本計画における 国際関係のフォローアップ

- 平成21年8月「科学技術外交戦略タスクフォース」を設置
- 今後の科学・技術分野の国際戦略のあり方と科学・技術外交を戦略的に展開するためのアクションを検討
- 平成22年2月報告書とりまとめ

 第4期科学技術基本計画に反映

国際関係の第4期科学技術基本計画

世界と一体化した国際活動の戦略的展開

(1) アジア共通の問題解決に向けた研究開発の推進

(2) 科学技術外交の新たな展開

- ① 我が国の強みを活かした国際活動の展開
- ② 先端科学技術に関する国際活動の推進
- ③ 地球規模問題に関する開発途上国との協調及び協力の推進
- ④ 科学技術の国際活動を展開するための基盤の強化

これらを着実に推進するため、「科学技術外交戦略タスクフォース(平成21年8月～平成22年2月)」の報告書をフォローアップし課題を特定するため、第4期科学技術基本計画においても期間限定で改めて「科学技術外交戦略タスクフォース」を科学技術イノベーション政策推進専門調査会のもとに設置することとしたい。

科学技術外交戦略タスクフォース (平成21年8月～平成22年2月)について

メンバー:

産業界(1)
アカデミア(地域政策研究者)(3)
アカデミア(分野専門家)(7)
多様で幅広い関係者(4)
総合科学技術会議(3)

オブザーバー:

総務、外務、文科、厚労、農水、
経産、国交、環境 (課室長級)

活動内容(全8回):

- ① 各省の取り組み (1)
(プレゼンテーション)
- ② 大学・機関等の取り組み (3)
- ③ 民間の取り組み (4)
- ④ 地域戦略のあり方 (2)
- ⑤ 欧米諸国の科学技術外交 (1)
- ⑥ 論点整理・討論 (3)

第4期科学技術基本計画における 科学技術外交戦略タスクフォースの設置について(案)

メンバー:

科学技術外交戦略タスクフォースの構成を参考に、5人～6人程度

→ 科学技術イノベーション政策推進専門調査会で決定

活動内容(ミッション):

- ① 「科学技術外交戦略タスクフォース報告書」(平成22年2月とりまとめ)のフォローアップと新たな課題の絞り込み
→ 科学技術外交連携推進協議会の設置について検討
- ② 科学技術基本計画に関連する府省施策のチェック(施策レビュー)(～5月)
→ 修正、強化、追加等の必要な提言を行う
- ③ 次年度概算要求に向けて、アクションプランに盛り込むべき取組、施策を検討(5～7月)
→ 戦略協議会、基礎研究及び人材育成部会とも連携